



社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごと
ご相談はご遠慮なくどうぞ
☎町内35-1270



令和4年度
採用

茶北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)の嘱託 職員を募集します

☎ 茶北町社会福祉協議会事務局 ☎35-1270

▶募集する職種

職種名	職務内容	募集人員	応募資格	採用日及び任期
社会福祉士	権利擁護、成年後見制度の相談業務	1名	・社会福祉士資格 ・普通自動車運転免許	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで(更新可)※原則更新
看護師 (准看護師)	ひとり暮らし及び 高齢者世帯への訪問業務	1名	・看護師または准看護師 ・普通自動車運転免許	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで(更新可)※原則更新

▶募集対象

昭和34年4月2日から平成12年4月1日までに
生まれた人で、心身ともに健康で、福祉に関心がある人

▶勤務日・勤務時間

- 月曜日から金曜日まで
(土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休み)
- 勤務日数…月20日程度
- 勤務時間…午前8時30分から午後5時まで

▶報酬・諸手当・その他

社会福祉士…月額20万円程度
看護師(准看護師)…月額19万円程度
賞与(年2回)、交通費の一部を支給、社会保険・雇用保険・半年勤務後年次有給休暇有り

九州社会福祉協議会連合会

嶋岡春樹さんが 会長賞を受賞



元茶北町社会福祉協議会職員の嶋岡春樹さんが、九州社会福祉協議会連合会における令和3年度の会長表彰を受賞されました。

11月1日(月)、茶北町保健センターにおいて、山崎敬一会長から表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、社会福祉協議会職員として15年以上その業務に従事し(嶋岡さんは令和3年4月1日現在在職で28年3月勤続)功績が顕著である人を対象に表彰されるものです。



仁四さんとの結婚当時

茶北すみれコールでの一枚

〈プロフィール〉

満州国新京市外孟家屯で岩下家4人姉弟の長女として生まれる。秀子さんの父が仕事で満洲國の放送局に勤めていたが、幼いころ早くに父が亡くなる。末っ子の弟が1歳6ヶ月のことで、秀子さんの母も29歳と若く、家族は大変な苦勞をした。茶北町に戻ってきてから秀子さんは、幼稚園・富岡小・茶北中の一期生を経て水産高校(現：天草拓心高校)に進学する。水産高校3年生の時に実習先が富岡保育園であったことを機に、富岡保育園に就職することになった。(その後20年間程勤めた)

それから昭和41年、会費制の勤労者音楽協議会(通称：労音)が本渡市(現：天草市)で始まり、そのサークル活動で秀子さんは茶北のブロック長として会費の集金係を務めていたのだが、その時にご主人となる仁四さんと出会う。音楽だけでなくキャンプや海水浴などを通して親しくなり、昭和42年に結婚となった。結婚後は2人の子宝(娘と息子が1人ずつ)に恵まれる。結婚後も保育園に勤めながら子育てだけでなく、労音の活動やその後始まった子ども劇場の活動にも精を出した。月日が流れて現在の秀子さんは、「平和」を求める活動をしている。それは、戦争を経験したから絶対に戦争をしない、平和を守るという考えがあるからだ。

「争い事が嫌いなので人とのつながりを大切に、その暮らしを大切にしていきたい」
秀子さんはそう話されました。

※秀子さんが話された内容で掲載しております。

茶北町で、元気に生き生きと暮らしていっしょに『たっしゃかもん』を紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.246

平和な世の中を求める活動を。
これからも続けていきます!

岡崎 秀子さん

(昭和11年2月7日生まれ) 満85歳 出来町区在住

問 好きな食べ物

プリン、小豆あんのまんじゅうやお菓子が好きです。

問 好みの異性のタイプは

明るくて人に親切な人が好きです。あとは、何にでも好奇心旺盛な人も好きですね。

問 私の趣味

コーラス・山のぼり・絵画・お芝居です。コーラスは本渡まで週に一回4年間通っていて、山のぼりは月に一回20年くらいと茶北すみれコールは32年間続いています。

問 私の健康法

毎朝4時に起きて新聞配り、それと時々昼寝をします。また、当地の海産物や新鮮な野菜を何でも食べます。甘いお菓子も楽しみたいので「腹八分目」で食べます。町の食生活改善推進員協議会で学習した通り、いつも理想体重を守っています。おかげで風邪をひいて寝込んだことは一度もありません。

問 思い出

子ども達が学生の間、毎年夏休みに一週間くらいの車旅行をしました。私の母親と、時には姪っ子も連れてでしたので、宿泊費を節約するために海や山でキャンプをしました。雨の日はロッジに泊まり、川で泳ぐことで汗を流しました。化石採集に熱中したり、動物の木彫りをしたり、時には一晩中徹夜で流星群の観測をするなど、何でも家族全員で共同作業をしたのが楽しい思い出になっています。

問 若い世代へ伝えたいこと

科学が発達することはとてもいいことですが、情報が複雑化する中、しっかりと真実を見極める力を持ってほしいです。若い人には社会を変える力があります。世の中・地球の立て直しなど重大な問題が山積みしていますが、戦争体験者の訴えとして「戦争する国」にしないでほしいです。

問 町へのメッセージ

子育てについても高齢者への支援についても良い町で、「安心して暮らせる優しい町」をこれからも続けていってほしいです。お願いをしたいところは、自然や歴史を活かした観光などの産業に力を入れてほしいです。